

Tachyon

[タキオン]



なかにし礼氏によって作詩された公立小松大学校歌のタイトルは「光より速きわれら」。ときに光速をも超える思念やインスピレーションが本学学生・職員の spirit から発せられるよう念願し、本誌のタイトルとして選んだのが「タキオン」(Tachyon)である。Tachyonは、未だ確認されていない粒子であるが、光より速い速度をもつとされ、ギリシャ語の「ταχύς(速い)」を語源とする。

学長 山本 博

(図出典：Institut for teoretisk Fysik)

We Enjoy Campus Life

バスケットボールサークル

総勢約30名の人気サークル。毎週木曜日、試合形式の練習を中心に、バスケットを楽しんでいます。粟津キャンパス体育館が主な練習場です。

※大学HPでは、広報室学生委員によるサークル突撃取材の記事を公開しています。



令和5年度 公立小松大学入学者選抜試験 (2023年度)

学校推薦型選抜、一般選抜の出願方法は、インターネットを利用したWeb出願です。
各試験の募集要項は、9月以降にホームページで順次発表予定です。

区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限	
学校推薦型選抜	地域推薦 (市内、県内)	11月1日(火) ~ 7日(月)	11月12日(土)	12月1日(木)	12月9日(金)
	一般推薦	12月14日(水) ~ 23日(金)	令和5年 2月4日(土)	令和5年 2月9日(木)	令和5年 2月15日(水)
一般選抜	前期日程	令和5年 1月23日(月) ~ 2月3日(金)	令和5年 2月25日(土)	令和5年 3月5日(日)	令和5年 3月15日(水)
	中期日程		令和5年 3月10日(金)	令和5年 3月21日(火)	令和5年 3月27日(月)
社会人選抜	11月1日(火) ~ 7日(月)	11月12日(土)	12月1日(木)	12月9日(金)	

(単位：人)

学部	学科	入学定員	選抜区分と募集人員					社会人選抜
			一般選抜		学校推薦型選抜		地域推薦	
			前期日程	中期日程	一般推薦	市内		
生産システム科学部	生産システム科学科	80	40	20	7	6	7	—
保健医療学部	看護学科	50	30	8	2	5	5	若干名*
	臨床工学科	30	17	5	3	2	3	若干名*
	計	80	47	13	5	7	8	若干名*
国際文化交流学部	国際文化交流学科	80	35	25	7	7	6	—
合計		240	122	58	19	20	21	若干名*
大学入学共通テスト			課す		課さない			

*社会人選抜の募集人員は、各学科の一般選抜の内数とします。

01 こまつから未来へ —第1期生就職実績—

03 大学TOPICS

05 学長中米訪問・お旅まつり体験記・輝く小松大生

06 教員紹介 岩橋正國 臨床工学科教授

07 令和5年度 入学者選抜試験情報・第5回青松祭

vol.9
2022.09

公立小松大学祭「第5回青松祭」

せいしょうさい
青松祭

eスポーツ、おばけやしき、模擬店、サークル発表など学生はもちろん、地域の方々にも楽しんでもらえるイベントが盛りだくさん。高校生・保護者の方向けの進学相談コーナーもあります。皆さんぜひお越しください!

今年のテーマは、
いっさいがっさい
一祭合祭
~ All together as One ~



日時 10月22日(日) 10:00~17:00

場所 中央キャンパス
こまつ芸術劇場うらら

Twitter:@seishousai
Instagram:@seishousai_komatsu

問い合わせ ▶ 中央キャンパス 学生課 ☎ 0761-23-6610

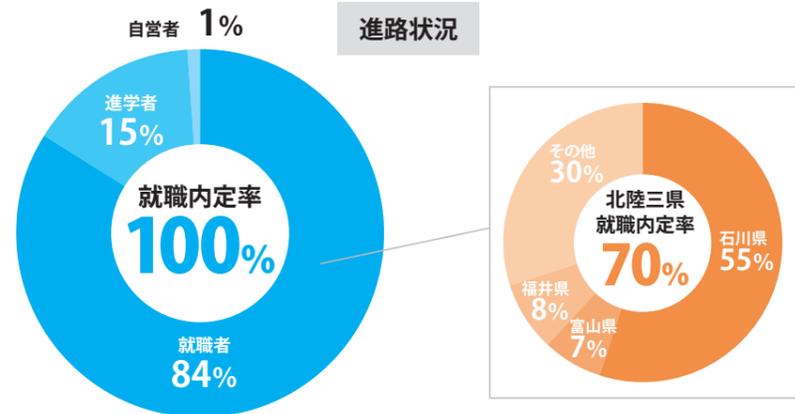
こまつから未来へ | 第1期生(2021年度卒業生) 就職実績 |

2018年に開学した公立小松大学は、令和3年度に開学4年目を迎え、2022年3月に227人の最初の卒業生を送り出しました。第1期生の輝かしい就職実績について紹介します。

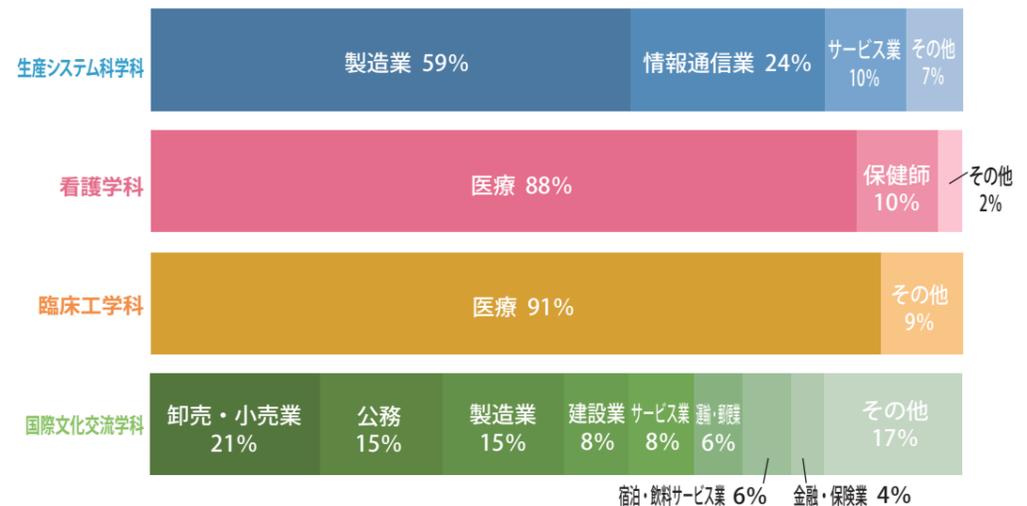
今春卒業した公立小松大学第1期生は、就職希望者192名全員が就職内定を獲得しました。特に、北陸三県への就職希望者が多く、約70%の学生が北陸で活躍するフィールドを見つけることができました。また、石川県内の就職者は全学科合わせて103名(53.9%)となり、県内就職者の割合が半数を上回りました(第1期生の出身:県内57.9%・県外42.1%)。

就職先を業種別に見ると、生産システム科学科は製造業や情報通信業などが多く、約3割の学生が公立小松大学や他大学の大学院へ進学しました。看護学科は県内の医療機関や公務員が多く、臨床工学科は全国の医療機関へ就職を決めました。また、国際文化交流学科は公務員や卸売・小売業、製造業、建設業、サービス業、宿泊業、金融など幅広い業界への就職実績となりました。

数字で見る 就職・国家試験合格実績 (2021年度卒業生)



業種別就職割合



国家試験合格率

看護師・保健師

100%

全国合格率：看護師 91.3% / 保健師 89.3%

臨床工学技士

91.2%

全国合格率：80.5%

各学科の就職先は大学ホームページに掲載しています。



卒業生 Interview



Q1 仕事内容・やりがいは? 開発部門で染色の基本的な加工工程を学ぶとともに、染色加工前の段取りや準備作業をフォローする等のアシスタント業務に従事しています。日々多くの生地や素材に触れ、それぞれの生地の用途や目的に合わせて必要な機能を考えるなど、素材を企画・開発できることにやりがいを感じています。

Q2 就職活動で取り組んだことは? 大学3年の夏頃から取り組み始め、自分の専門分野や興味のある分野の会社説明会のほか、夏季・冬季インターンシップに積極的に参加しました。就活中は、自己分析や自分の軸を明確にすることを意識していました。

2021年度生産システム科学科卒業 小松マテーレ(株) 佐々木龍汰さん

Q1 仕事内容・目標は? 検査や治療に必要な機器の準備や医療機器のトラブル対応・点検、データ分析などを主に担当しています。大学で学んだ臨床の知識をさらに深め、現場でどう活かすのかを考える必要があります。日々勉強の毎日です。いずれはカテーテル業務において、誰からも頼りにしてもらえる臨床工学技士になりたいです。

Q2 大学での学びは活かしているか? 大学で学んだ知識はもちろん、特に国家試験の勉強で得た知識が現場での業務の土台となりました。加えてサークル活動やアルバイトなど、大学で学ぶ「知識」以外の部分でも大学生活での経験がそのまま活かされています。

2021年度臨床工学科卒業 やわたメディカルセンター 田村美優香さん



Q1 仕事内容・大変なことは? アフターサービス用の部品の在庫管理を担当しています。英語や中国語で海外現地法人とやり取りすることが多く、多様な価値観を持った方々と働く中で、日々刺激を受けながら楽しく仕事できています。部品の需要を予測して在庫を調整することは難しいですが、需要と販売・生産の流れをより正確に読み取れるよう努力しています。

Q2 就職活動で取り組んだことは? 特に自己分析と面接対策、筆記試験対策を徹底的に行いました。自己分析では、自己分析カードなどを用いて自分の性格や仕事の適正傾向を知り、面接・筆記試験対策としては、「これでダメなら諦めがつく」と自分に自信が持てるまで何度も練習を繰り返し、最善を尽くしました。

2021年度国際文化交流学科卒業 コマツ粟津工場 肥田望来さん

1・2年生の利用も大歓迎!

キャリア相談 実施中

進路選択や就職活動の進め方に関する相談のほか、履歴書やエントリーシートの添削、面接練習などに随時応じています。オンライン相談も受け付けています。

【相談時間】
月～金曜日(平日) 9時～17時
【相談予約】
キャリアタス UC から



問い合わせ carrier@komatsu-u.ac.jp

キャリア サポートセンター

中央キャンパスと粟津キャンパスに専門のキャリアコンサルタントが常駐し、就職に関する個別相談のほか、各種セミナーや公務員試験対策講座、就職活動イベントなど様々な企画を行い、学生の就職活動を積極的にサポートしています。

今年度からは、キャリアサポートセンター専用のLINEアカウントを開設するなど、学生のニーズに応じた取り組みを進めています。

★学生スタッフも活躍 オープンキャンパス2022

7/16
(土)

7月16日(土)に3つのキャンパスで「オープンキャンパス2022」を開催し、約280人の参加者が、学科説明や模擬授業、模擬演習、キャンパス見学など様々なプログラムを体験しました。



高齢者疑似体験(看護学科)

進学相談や学生交流のコーナーでは、学生や教職員が参加者からの質問や相談に応じ、各会場は終始活気にあふれていました。

★レクリエーションなどで交流 きずな合宿(新入生交流会)

4/9
(土)

4月9日(土)、新入生を対象に、学生同士および学生教員間の交流、親睦を深めるため「きずな合宿」を開催しました。



学部別に分かれ、グループワークなどに取り組み、これから共に学ぶ仲間や教員と楽しく有意義な時間を過ごしました。

★令和4年度新規着任教員

(役職・50音順)

【生産システム科学科】

歌野原陽一(教授)、篠原晋(教授)、細川晃(教授)、村山立人(教授)、粕谷素洋(准教授)、山下幸三(准教授)、舟瀬真一(講師)

【看護学科】

久司留理子(助教)、塚谷才弘(助教)、津田裕子(助教)、前田朱美(助教)、矢口和美(助教)

【臨床工学科】

北浦弘樹(教授)、仲田浩規(教授)、橋本泰成(教授)

【国際文化交流学科】

鍾以江(教授)、清剛治(准教授)、朱善華(准教授)、デニス・ハーモン(准教授)、橋本貴子(准教授)、西島薫(講師)

【サステナブルシステム科学研究科】

高山純一(教授)、盛永審一郎(特任教授)

ラジオ広報番組

世界に向かって飛び立て！ 公立小松大学

学生や教員が出演し、大学の教育研究活動などを紹介しています(本学HPには、過去の放送データをアップしています)。

放送日時：毎週土曜日 9時30分～9時45分
放送局：ラジオこまつ(76.6MHz)ほか3局

★学長表彰 受賞者一覧

令和3年度の学業成績が特に優秀だったとして、各学科から推薦された下記44人が学長表彰に選ばれました。

【生産システム科学科】(15人)

内呂匡希、田代艶和、田辺大騎、森内捷世、安多遼悟、新村隆、千田了、中村龍ノ介、宮野夢生、山田智之、上田拓矢、金崎紗弓、高森翔吾、山口隼輝、山口真輝

【看護学科】(8人)

浅沼絢花、飯川柚紀、奥園美咲、垣内萌花、辻口詩乃、長島由佳、竹内菜々花、寺岡日菜乃

【臨床工学科】(7人)

近藤綾海、宮野佑也、木下日菜、野崎桜花、一幅夕織、佐藤真耶、宮城鳥楓

【国際文化交流学科】(14人)

大倉弥夕、紙谷美都、関口智哉、藤木菜緒、山田葉月実、岡崎はな、雁行七羽、木村桃花、瀬戸麻由佳、野村夢佳、石川怜奈、小林美月、西本一葉、前田圭菜



生産システム科学科 表彰式

★栗津キャンパス 大学院棟修祓式・竣工式

3/30
(水)

3月30日(水)に栗津キャンパス大学院棟の修祓式・竣工式および施設見学会を行いました。

竣工式では石田理事長が「地元との協力があって今日を迎えることができた。地元に深く根付き、全世界に発信していきたい。大学が一体となって地域が活性化するように努めていく」と式辞を述べました。

式典終了後には大学院棟内の施設見学を行い、木村副学長、香川教授が施設内を紹介しました。



★学部生248人、大学院生23人入学

4/2
(土)

令和4年度入学宣誓式

4月2日(土)こまつ芸術劇場うららにて、令和4年度公立小松大学・大学院入学宣誓式を執り行い、生産システム科学科85人、看護学科50人、臨床工学科33人、国際文化交流学科80人、大学院サステナブルシステム科学研究科23人、合計271人が入学しました。

山本学長による入学許可宣言の後、入学生を代表して生産システム科学科の石川翔さん、サステナブルシステム科学研究科生産システム科学専攻の山崎裕矢さんが宣誓を行いました。

また、山本学長の告辞、石田理事長の式辞の後、宮橋小松市長、吉本小松市議会議長から祝辞をいただきました。

★第1期生227人が卒業 令和3年度学位記授与式

3/23
(水)

3月23日(水)こまつ芸術劇場うららにて、令和3年度学位記授与式を執り行い、本学第1期生の生産システム科学科67人、看護学科50人、臨床工学科34人、国際文化交流学科76人、合計227人が卒業しました。

登壇者並びに代表学生は、建築家の隈研吾氏がデザインし、小松マテーレ株式会社が素材開発・製作したアカデミックガウンを着用して式典に臨みました。

山本学長による学位記授与並びに告辞、石田理事長の式辞の後、宮橋小松市長、吉本小松市議会議長のご祝辞があり、アカデミックガウンをデザインされた隈研吾氏、学長特別補佐で宇宙飛行士の山崎直子氏からの卒業生へのメッセージ動画も披露されました。

また、生産システム科学科の近澤光太さんが卒業生を代表して「大学生活を支えて下さったすべての方への感謝を忘れずに、これからも日々精進してまいります」と教員や友人への感謝を述べました。



美容系の会社を起業したい!

直江 美鈴さん

英語を究めたい!

多村 美緒さん

趣味を見つけたい!

松田 侑里香さん

アメリカが台湾に留学したい!

濱村 理央さん

ボランティア活動をしてみたい!

宮崎 稜麻さん

自炊や運動を頑張りたい!

原 さくらさん

研究に熱心に取り組みたい!

下道 春輝さん

幅広い世代の人と関わりたい!

高林 佑菜さん

新入生インタビュー

広報室学生委員が大学で挑戦したいことを聞いてみました

生産システム科学科

教員紹介

KOMATSU UNIVERSITY



いわはしまさくに
岩橋 正國 教授
(臨床工学科)
Masakuni Iwahashi

生体磁気と磁場効果の探求

私たちヒトや動物は生体内の電気活動により、脳や心臓などから微弱な磁場を発生しています。生体磁場の存在は古くから予測されてきましたが、非常に弱い磁場のため、計測することは困難でした。しかし、SQUID(超電導量子干渉素子)が開発されたことで、生体磁気の計測が可能となり、脳機能の研究やがんの発生部位の推定、心臓疾患の一つであるWPM症候群の副伝導路の位置推定などに利用されています。また、生体に

磁場を与えたときの影響や効果も研究され、磁場を使った治療が一部実施されています。私は、磁気刺激による神経活動のメカニズムを解明するため、特殊なコイルを用いて頭の表面から脳の内部を刺激する実験を行いました。低い音と高い音をランダムに呈示して、高い音の出現回数をカウントしてもらったところ、磁気刺激が音を認知する過程に影響を及ぼすことを発見しました。一方で、パーキンソン患者の頭部を磁気刺激することで、パーキンソン病独特の症状が数か月間緩和されるとの報告がありますが、合併症が

医療機器のスペシャリストを育成



磁気刺激装置と脳波計測装置

生じないような安全な磁気刺激条件を求めることが必要です。私の研究室でも磁気刺激の安全限界を求めるため、ファントム(物性がヒトと類似しているもの)を使って、磁気刺激の安全性に関する研究を行っています。小学生の頃からテレビや無線機など、実際に線が通っていないのにつながる電子機器に興味を持ち、電子工学の世界に入りました。大学院でME(医用

工学)と出会ってから研究者を志し、九州の大学を中心に、医療機器のスペシャリストである「臨床工学技士」を養成する学科や大学の立ち上げに携わってきました。公立小松大学の臨床工学科でも、臨床工学技士の国家資格取得を目指しています。私も学生の試験勉強に少しでも役に立てればと思い、試験対策講座を他の先生方と一緒にを行っています。昨年度のME検定試験の合格率は約70%(全国平均は42.5%)、国家試験の合格率は91.2%(全国平均は80.5%)でした。学生達が図書館や空き教室で試験勉強している姿を見ると頼もしく思います。退職後は、小中学生に電子工作教室などを通して科学の面白さを伝えることができればと思っています。

学生へのエール

失敗は恐れるものでなく、乗り越えるものです。失敗してもそこから学べばいいのです。ど

私の休日
holiday

魚釣り(特に海釣り)が好きですが、ここ数年は忙しく、ほとんどしていません。時間があれば、孫を連れてキスや鯛を釣りに行きたいです。



山本学長 グアテマラ共和国・ホンジュラス共和国訪問

7月2日(土)から11日(月)の10日間をかけて、山本博学長が中米のグアテマラ共和国およびホンジュラス共和国を訪問しました。現地の教育や歴史研究活動に関する視察、各種協定の合意書に署名するなど、本学と両国の関係機関との更なる連携強化を図りました。



ティカル国立公園文化遺産保存研究センター 10周年記念式典出席

グアテマラの文化スポーツ省の大臣と面会し、文化遺産に関する協定の合意書を交わしました。



金沢大学が設置する海外オフィスを共用(ティカル、コパン・ルイナス市)

海外オフィスを拠点に、金沢大学と国際共同学術研究プロジェクトの推進や次世代人材の育成を図ります。



グアテマラシティ デル・バジェ大学訪問

新校舎を見学し、近い将来の大学間交流協定締結に向けた合意書を交わしました。



おめでとう! 輝く小松大生

世界遺産検定 1級に認定 —公立小松大学・団体受検で初!—

北村 麻衣さん(国際文化交流学科3年)

第48回世界遺産検定(2022年7月実施)において、国際文化交流学科3年の北村麻衣さんが1級に認定されました。

1級の出題範囲は全世界遺産1154件に加え関連する時事問題などにも及んでおり、2級の3倍以上の知識量が問われます。また本検定での認定率は2割ほどしかなく、石川県の大学等における団体受検としても初のケースで、今回の認定は快挙と言えます。

北村さんは今回の検定に向けて、1冊500ページ近くあるテキストを2冊読み込み、昨年12月の2級認定からわずか半年足らずで1級認定を成し遂げました。



地域に飛び出せ! お旅まつり体験記

小松に初夏の訪れを告げる「お旅まつり」。今年は5月13日(金)~15日(日)の3日間開催され、祭りの見どころである「曳山子供歌舞伎」に、国際文化交流学科の3年生5人が参加しました。

学生たちは、八日市町の曳山子供歌舞伎の裏方・若衆として2週間前から稽古に励み、舞台裏から子供役者に小道具を渡したり、芝居を盛り上げるためのつけ打ちをしたりするなど、裏方で子供役者を支えました。参加した学生は口を揃えて、「一味違う祭りを体験でき、小松の伝統文化と伝統芸能への理解を深める貴重な経験になった」と充実した様子でした。

また、5月14日(土)には、5基の曳山が並ぶ「曳山曳揃え」が行われ、約30人の学生が曳山を移動させる曳手としても参加しました。



◀舞台が始まる前に行う挨拶「口上」の務めを立派に果たした堀川さくらさん
▶注意看板を持って会場整理を行う(左)清水沙恵さん(右)野村夢佳さん

